

神話伝説の山里

# 「高千穂郷」通信

平成16年 4月号

(宮崎県西臼杵支庁)

NO.16



支庁総務課の窓から見える桜



高千穂町総合公園のしだれ桜



TR高千穂鉄道「天岩戸駅」



山沿いの道にひっそりと咲いている桜  
(県道土生高千穂線)



今年3月18日に開通したふるさと農道五ヶ瀬地区「夕日の里大橋」



阿蘇山に沈む夕日をイメージして作られた親柱



橋の向こうには、阿蘇の根子岳が見えます。



全線開通を祝って、関係者によるテープカットが行われました。



渡り初めでは、五ヶ瀬町の勇壮な棒術も披露されました。



三代夫婦に続き、地元の方々も渡り初めを行いました。

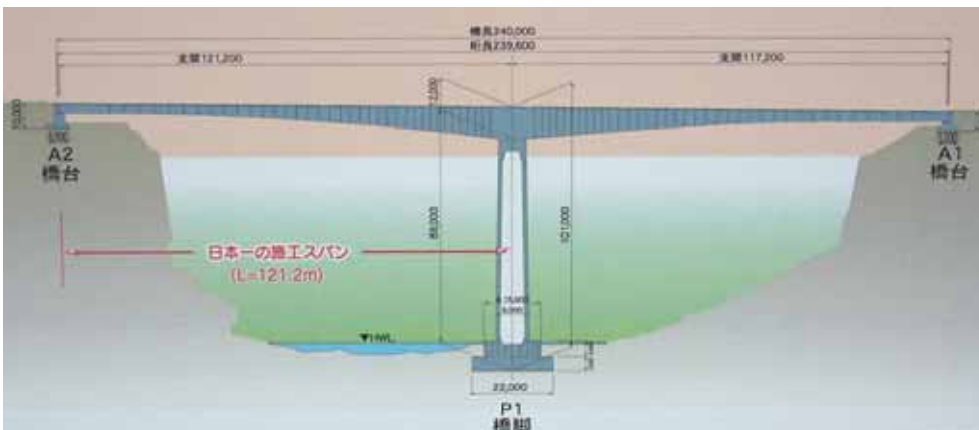
ふるさと農道五ヶ瀬地区

# 「夕日の里大橋」開通

国道218号と県道竹田五ヶ瀬線を結ぶ「県営ふるさと農道緊急整備事業」の「夕日の里大橋」が完成しました。この橋の開通により、同町三ヶ所岩神地区と桑野内地区車で10分以上短縮されました。農林業の振興はもとより、桑野内地区で盛んに行われているグリーンツーリズムの振興や「五ヶ瀬ワイナリー」(平成16年度完成予定)への交通アクセスの改善など、当地域の活性化が期待されます。

## 【夕日の里大橋データ】

橋梁の形式は「T型ラーメン橋」と呼ばれ橋桁と橋脚が一体化した構造となっており、橋の長さは240mあります。この橋は「張り出し架設工法」(=橋脚を先に完成させ、その後中央部から両側にやじろべえのようにバランスを取りながら橋桁を伸ばしていく)により作られました。この工法としては、日本一の施工スパン(L=121.2m)の橋であり、三ヶ所川からの高さも9.5mと国内最大級です。総事業費 約20億円



## 「東西白杵山間農業地域肉用牛振興シンポジウム」開催

山間地域の肉用牛振興と地域農業・農村の振興を図ることを目的としたシンポジウムが、平成16年3月10日～11日、椎葉村で開催されました。



熱心に聞き入る参加者(約150名)

シンポジウムでは「東西白杵地域における肉用牛振興の現状と課題」と題して、東白杵・西白杵地域農業改良普及センターから情勢報告が行われました。

事例報告では、JA高千穂地区の鈴木生産肥育課長から、肉用牛増頭運動の展開、国産粗飼料の確保、JA青年部和牛専門部会の活動について報告。「肉用牛」が地域の基幹品目であることはもちろん、牛飼いの楽しみが生き甲斐や健康維持につながっているとの報告がありました。



総合討議の様子

全員参加型の総合討議では、高千穂町の参加者からは、「このままの状況で農家戸数の減少が進めば、産地は維持できなくなる。地域・集落で共同して、牛を管理したり、糞尿処理を行ったりする等、肉用牛生産を維持・拡大していく仕組みづくりが必要で、そのために我々、若手も一肌ぬぎたい」という前向きな発言がありました。各地域とも、今回のシンポジウムの内容には大いに刺激を受けた様子で、それぞれの地域で特色ある肉用牛生産が行われることが期待されます。

このままの状況で農家戸数の減少が進めば、産地は維持できなくなる。地域・集落で共同して、牛を管理したり、糞尿処理を行ったりする等、肉用牛生産を維持・拡大していく仕組みづくりが必要で、そのために我々、若手も一肌ぬぎたい」という前向きな発言がありました。各地域とも、今回のシンポジウムの内容には大いに刺激を受けた様子で、それぞれの地域で特色ある肉用牛生産が行われることが期待されます。

## 県道向山日之影線中村工区のE P S工法について



発砲スチロールを使ったE P S工法



西白杵管内では、初めてE P S工法で施工された中村工区

[データ]  
向山日之影線中村工区

全体延長 約1.2 km  
全体事業費 約2.6億円  
事業年度  
平成6年度～16年6月  
頃竣工予定

中村工区には、地質の悪い箇所があり、通常の土砂による盛土では、地すべりを起こす恐れがあったことから、土砂の代わりに発砲スチロールを使うEPS工法を用いて施工を行いました。

この工法は、西白杵管内では初めて採用された特殊工法で、通常の盛土よりも地盤への影響を小さくすることができます。



完成した排水溝。舗装や緑石等の工事が残されており、6月には完了の予定

## 「緑の募金」にご協力をお願いします



高千穂町役場駐車場にて、苗木配布と高千穂みどりの少年団による緑の募金運動が行われました。

「緑の募金」は、森林の整備や緑化推進のために行われています。

西白杵地区においては、この募金により、管内の小中学校に花の苗や種、肥料、プランター等を贈っています。皆様には、この募金の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いします。

なお、「緑の募金」は、「未来へと世代で結ぶ森づくり」をテーマに実施される「県民緑化推進運動」の一環として進められており、春と秋には「県民緑化推進運動強化期間」として県内各地で、様々な緑化推進の行事が開催されています。

## 「いきいきジュニア森の学校」開催



種駒打ち体験の様子。トンカチの音ははずませ、楽しそうに実習していた姿が印象的でした。

森林・林業について学習してもらおうと、高千穂町立岩戸小学校5年生25名を対象に「いきいきジュニア森の学校」を開催しました。

岩戸地区でも盛んな椎茸生産について、その歴史と栽培方法についての講義を行った後、椎茸原木への種駒打ち込み体験や伏せ込み(椎茸菌を原木にまん延させるために、環境条件の良い場所へ移す)の実習を行いました。

今回実習した椎茸が収穫できるのは、来年の秋以降。児童たちの卒業には間に合いませんが、この経験は、一生、思い出として残ることでしょう。



伏せ込みのためのほだ木を組む児童



講師を務めた支庁林務課の岡村主査



種駒を打った重いほだ木を運ぶ児童

## 向坂山キリタヤマザクラ植樹祭



ふりしきる雨の中、キリタヤマザクラを植樹する参加者

「キリタヤマザクラの森づくり」植樹祭が、3月21日、五ヶ瀬町鞍岡の向坂山で開催されました。（宮崎北部森林管理署、五ヶ瀬町主催）

町内外から約150人が参加し、降りしきる雨の中、地域の固有種であるキリタヤマザクラ500本を植樹しました。参加者は、くわやすきを使って穴を掘り、一本一本丁寧に植えていました。



まだ雪の残る向坂山の中腹で植樹は行われた。



キリタヤマザクラ



植樹祭には小さな子供も参加

### 編集後記

キリタヤマザクラの植樹会場へは、林道から急な山道を登らねばならなかった。小さな子どもから高齢者まで皆、雪と雨でぬかるんだ道を黙々と登っていた。い「今日は、人間にとってはあいにくの雨ですが、桜にとっては恵みの雨。絶好の植樹日よりです」という飯千五ヶ瀬町長のあいさつが印象に残る。植樹された500本の桜には、ここに集まった参加者と植樹祭の準備に尽力された地元の方々の熱い思いが込められている。きっとここに根付き、素晴らしい花を咲かせると思う。この号で私の担当は終わります。取材に協力して頂いた皆さん、本当にありがとうございました。これからも高千穂郷通信をよろしく願います。園

\* 西臼杵支庁の業務等について、ご意見、ご要望などがありましたら下記までご連絡ください。

### お問い合わせ先

宮崎県 西臼杵支庁 総務課

TEL 0982(72)2181 FAX 0982(72)3760

100 古紙配合率100%、白色度82%を使用しています。

## 神話モニュメントを新たに10体設置



アクリルケースに納められた神話モニュメント。夜になるとライトが灯される。

高千穂町の地域おこしグループ「稲千穂会」(小野正道代表)は、昨年、高千穂町のメインストリート(旧218号線沿い)に神話を題材にしたかわいいモニュメント10体を設置しましたが、今回、新たに10体を設置。高千穂神社からくしふる神社の間を歩くと、古くから伝わる民話や神話など、20の物語をモニュメントとともに楽しむことができます。



高千穂の七福神



たかまがはら高天原



火伏地藏と八十八ヶ所巡り

## 音楽とお話の贈り物

～春の午後の楽しいひととき～



バイオリニストの徳永二男さん

まちは文化で元気になるうをテーマに3月20日、五ヶ瀬町民センターにおいて、延岡ジュニア・プラスによる演奏や歌人伊藤一彦さんの短歌を交えた楽しい講演、バイオリニスト徳永二男さんによる素晴らしい演奏が行われました。



歌人の伊藤一彦さん

町内外から約170名が集まり、音楽や講演で楽しいひとときを過ごしました。

## 西臼杵支庁だより

### 交通安全キャンペーン



チラシを手渡し、交通安全を呼びかける支庁職員

4月7日、高千穂町三田井の馬門トンネル前で交通安全運動街頭キャンペーンが行われました。高千穂警察署、高千穂地区交通安全協会、同地区安全運転管理者等協議会の会員や役場職員、支庁の新規採用職員も参加して、ドライバー約200人にチラシを手渡し、交通安全を呼びかけました。



今年4月に支庁に配属された新規採用職員も参加。左から甲斐(福祉課)、男成(土木課)、森(総務課)、古澤(林務課)